

伯寿の郷ユニット型特養運営報告

1. 入所者様の暮らしについて

12月は忘年会と称して、昼食時に鍋パーティーを開催しました。鍋の後には、雑炊にして楽しんでいただきました。また、ある入所者様の家族様から大根の差し入れがあり、職員と一緒に調理いただき、皆さんにふるまわれました。

畑から採れたての大根のにおい、土のにおいなど、畑仕事をしていた頃を思い出されたのではないのでしょうか。

1月のお正月には、お神酒とお節を準備し、皆さんでお祝いました。

2. 職員の資質向上に向けて

11月は認知症の方への対応について研修しました。認知症を患っておられる方へのアプローチ方法を統一することで、普段は不穏になることが多かった方が、穏やかに過ごせるようになった成功事例を基に開催しました。事例発表後、各部署（従来型特養、ユニット、ショートステイ）に分かれ、グループワークを行いました。自部署で今回のケースのようなご利用者がおられるか、又は自分の行っている対応方法がこれで良いのか…などの不安を吐き出し、皆で考える場としました。各グループ様々な意見が出て、時間が足りなくなりましたが、今後は各部署のミーティングなどに持ち帰り、対応方法を統一して、利用者様に、より安心して過ごしていただけるよう努めて参ります。

12月は未開催です。

3. その他

面会について

12月8日から直接面会を下記の制約の中、再開しました。

① 山陰在住者

- ・4名までの登録制、かつ1回の面会につき2名まで、15分間。
- ・検温、消毒後、パーテーションなしで触れ合い可。

② 山陰外在住者

- ・キーパーソンの方のみ面会可。
- ・コロナワクチン2階接種証明書提示必要。
- ・検温、消毒後、パーテーションありで、触れ合いは不可。

11月ワクチン接種の進捗を踏まえ、行動制限が全国的に緩和されたことを受け、12月8日から弊施設の面会も緩和しました。触れ合うことが可能になり、入所者様、家族様ともに喜んでいただくことが出来ました。また、県外在住のキーパーソンの方も、窓越しではなく、パーテーションはあるものの、側に感じていただくことが出来ました。

1月7日、全国的にコロナ感染者数増加傾向のため、再び、直接面会は中止、窓越し・オンライン面会のみ対応となりました。

約1か月間の緩和という結果になりましたが、今後もコロナ情勢を見ながら検討してまいります。

令和4年1月25日

ユニット型特養運営推進委員様

特別養護老人ホーム 伯寿の郷
施設長 秦 真由美
(公 印 省 略)

伯寿の郷ユニット型特養運営報告書送付のご案内

厳寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

さて、1月の推進会議がコロナの影響で急遽中止となり、ご迷惑をおかけしました。予定しておりました内容を、今回は文書でご報告させていただきますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

1月13日に伯寿の郷職員1名のコロナ感染が確認されました。他職員に検査実施し全員陰性であり、ご利用者様も濃厚接触にあたる方はなかったため、18日以降は通常の運営となりました。面会は、直接の面会は当面中止し、窓越し、オンラインでの面会は再開しております。

今回の件で、「新型コロナウイルス感染発生時における事業継続計画」の見直しが必要であること、感染対策を徹底していても、いつどこで感染するのかわからないことを、改めて痛感しております。今回の経験を今後に活かしていこうと思えます。これにつきましては、次回の推進会議でご報告したいと思えます。

次回開催予定日：3月15日（火）

時 間：14：00～15：00

場 所：伯寿の郷会議室（正面玄関からお入りください）

特別養護老人ホーム伯寿の郷 電話番号：0854-37-1600 担 当：生活相談員 田邊
--

